

令和5年度 学力向上を図るための全体計画

○練馬区 教育目標

- ・夢や目標を持ち困難を乗り越える力を備えた子供たちの育成
- ・教育基本法に則り、学校・家庭・地域社会との連携のもとに、心身ともに健康で知性と感性に富み、人間性豊かな子供の育成を図る。
- ・児童福祉法に則り、子供の利益を図り、自らの「育つ力」と家庭の「育てる力」を大切にしながら、心身ともに健やかな子供の育成を図る。

○施策の重点 ICTの推進、学校と地域の連携

○学校、地域の実態

- ・旧川越街道に面した昔ながらの商店街と、自衛隊の官舎、集合住宅、個人住宅などが多く立ち並ぶ。
- ・地域は協力的で、特に、北町商店街や陸上自衛隊との関わりが深い。
- ・北町西小学校・北町中学校が隣接し、小中一貫の連携を図っている。
- 児童の実態・・・明るく素直である。

学校目標

- やさしく・・・他人の気持ちを理解し、思いやりの心で接する子供
- ◎かしこく・・・自ら考え、正しい判断をし、よりよいものを求める子供
- たくましく・・・心身の健康に努め、ねばり強く活動する子供

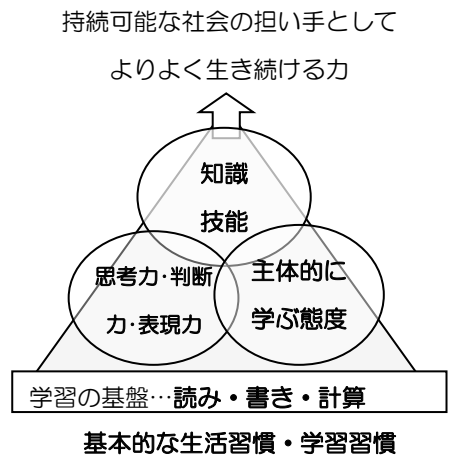
ア:学校経営方針(学力向上にかかわる要点)

- 1 年間指導計画に基づいた指導の実施
- 2 基礎的・基本的な学習内容の定着
- 3 規律ある学習習慣の確立
- 4 ICT機器の積極的な利用と法令遵守
- 5 健やかな体の育成と体力の向上
- 6 研究・研修の充実と教員の指導力向上
- 7 学校2020レガシーの視点の導入
- 8 小中一貫教育・幼保小連携
- 9 安心・安全を守る環境整備

イ:各教科などにおける指導の重点

- (ア)各教科・・・思考力・判断力・表現力等の育成に重点をおく。問題解決的な学習や体験的な活動を重視し、自ら学ぶ意欲や態度を育成する。多様な考えや立場の人との協働を通して、深い学びを実現する。個別指導や習熟度別指導を展開して、児童一人一人が基礎的・基本的な内容を習得できるようにする。
- (イ)道徳科・・・自己理解を深める道徳的心情や判断力、実践力を育成する。「善悪の判断」、「親切・思いやり」、「規則の尊重」、「生命の尊さ」を重点内容として扱う。
- (ウ)総合的な学習の時間・・・地域、人、自然と関わりながら体験活動を展開し、豊かな心と思考力を育成する。カリキュラム・マネジメントの視点で他教科との関連を図る。
- (エ)特別活動・・・学級活動を通して、受容的な集団を形成し、自主的・実践的な態度を育成する。委員会活動やクラブ活動を通して、望ましい人間関係の形成を図りながら、よりよい生活を築こうとする態度を育成する。
- (オ)生活指導・・・特別支援教育、人権教育、性教育などを通して、一人一人の個性を大切に、心身共に健全な児童を育成する。
- (カ)キャリア教育・・・自分の個性を自覚し、伸ばそうとする態度を育成する。自己の学びを振り返り、よりよく学ぼうとする態度を育成する。

ウ:本校における「確かな学力」の形成イメージ



エ:授業改善に向けた視点

(ア)指導内容・方法	(イ)教育課程編成	(ウ)研究や研修	(エ)評価活動	(オ)家庭や地域との協働	(カ)小中一貫教育
<ul style="list-style-type: none"> ・基礎・基本の繰り返し ・主体的に問題を解決する授業形態 ・話し合い活動や発表場面における効果的な指導 ・体験活動の重視 ・学習状況の把握と適切な支援計画 ・算数科習熟度別指導 ・ICTの活用 	<ul style="list-style-type: none"> ・朝学習(基礎基本の定着を図る) ・読書タイム(文章や文字に親しみながら豊かな感性を養う) 	<ul style="list-style-type: none"> ・学びに向かう力、人間性等をのばすための授業の工夫「主体的に学ぶ児童の育成」 ・一人1回以上の研究授業の実施 ・教職員OJTの実施 	<ul style="list-style-type: none"> ・学習後の振り返りタイム導入による自己評価 ・学年間の評価基準見直し ・保護者に対する評価規準の説明 	<ul style="list-style-type: none"> ・地域人材・保護者の協力体制 ・道徳授業地区公開講座 ・学校評議員制度の実施 ・インターンシップの実施 	<ul style="list-style-type: none"> ・課題改善カリキュラムによる小中一貫の授業改善 ・校区別協議会や授業参観によるPDCAサイクルの実現 ・生徒会と児童会の連携による挨拶運動の実施 ・中学校教諭による出前授業 ・中学校部活動体験 ・サマースクール(中学生によるミニティーチャー)

オ:授業改善策の検討方法

- ・月初めの学年会で、振り返りをする。
- ・年度末に、学年ごと、教科分掌ごとに集まって反省を行い、次年度の年間指導計画作成に生かす。
- ・教職員年度末校内反省で、教育課程や年間行事計画などの見直しを行う。